海老名市道路交通マスタープラン

平成30年3月

海老名市

目 次

汿	東定の	日的と万法	
1	道路整值	備を取り巻く環境変化	3
		道路を取り巻く状況	
		広域的な視点	
2	幹線道區	路網計画の見直しの検討	5
		見直しの視点	
	2-2	見直しの基本方針	6
3	将来幹網	線道路網計画の見直し	8
	3 - 1	見直し検討路線	8
		将来幹線道路網計画(検討案)	
4	交通量の	の検証	11
		将来交通需要の予測方法	
	4 – 2	将来交通需要推計による検証結果	13
5	将来幹網	線道路ネットワーク	16
		幹線道路ネットワーク	
	5 - 2	将来幹線道路網計画	17

序 策定の目的と方法

1. 目的

海老名市道路交通マスタープランは、平成元年12月に策定し、その後、数次にわたる見直しを行ってきました。これに基づき道路整備の推進を図ってきましたが、平成19年度の見直し(以下「既往計画」という。)以降、圏央道海老名ICの開通や海老名駅周辺における開発、自転車通行の新たな基準の発出等、市内外の道路整備を取り巻く状況が当時とは大きく異なってきています。

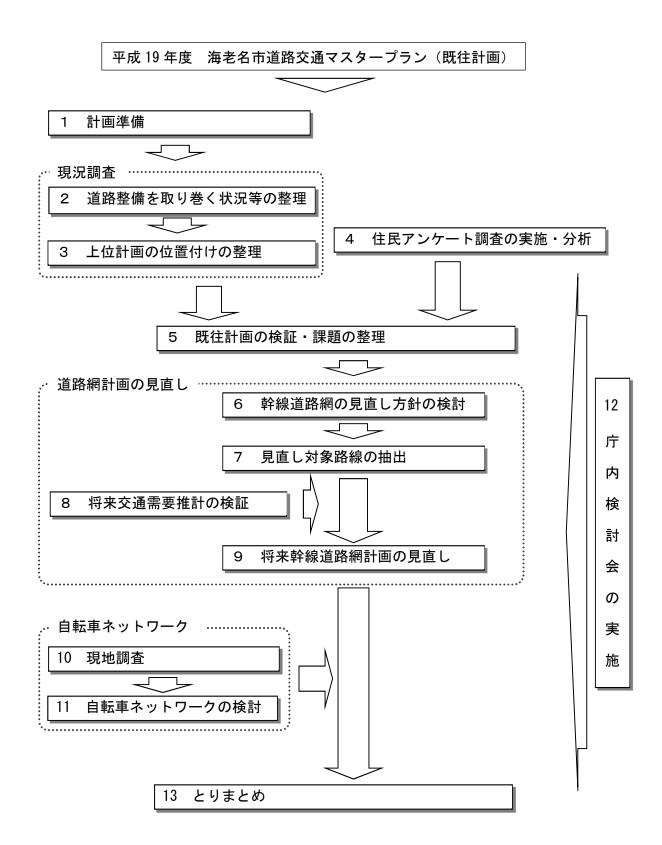
今回の道路交通マスタープランでは、これらの社会情勢の変化を踏まえた上で既往 計画の見直しを行い、将来の幹線道路網計画を策定することを目的とします。

2. 道路交通マスタープランの役割

この道路交通マスタープランは、本市の将来的な道路交通のあり方を示すものであり、具現性の高い幹線道路網の構築を目指す指針として位置付けるものです。

3. 検討の手順

道路交通マスタープランの見直しの検討手順は以下のとおりです。



1 道路整備を取り巻く環境変化

1-1 道路を取り巻く状況

① 人口構造の変化

- ・人口減少や少子高齢化は全国的に進行していますが、本市においても総人口は 平成 35 年までは増加し、13.6 万人をピークに以降は減少傾向となります。
- ・なお高齢化率は、今後15年は概ね24%前後で推移する見込みです。

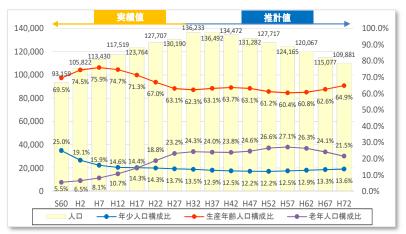


図 総人口及び年齢3区分別人口の推移と見通し

資料:海老名市人口ビジョン(平成28年2月)

② 移動特性・意識の変化

- ・近年は、海老名駅周辺で商業施設の開発が進み、購買活動や余暇活動を目的と した自動車利用が増加し、市外からの集客も見込まれます。
- ・一方、若年層の"クルマ離れ"や環境意識の高まりからの自転車移動など、モーダルの意識が変化しています。



図 自動車の着地別発生集中量

資料:東京都市圏 PT 調査

③ 社会情勢の変化を捉えた都市計画道路の見直し

- ・都市計画道路については、財政や地域の事情などにより、長期間整備されない 路線や区間があり、既往計画策定以降も保留されたまま、これまでの10年間 で変化がなく、整備時期が明確になっていない路線もあります。
- ・こうした路線について、社会経済情勢の変化への対応を勘案し、見直す必要が あります。

1-2 広域的な視点

① 広域幹線道路の整備

- ・近年、圏央道の開通、海老名南ジャンクションの供用など、広域幹線道路が整備されつつありますが、これらは本市と全国各地を結ぶ広域交通の主軸として、市の発展に大きく寄与するものであります。
- ・そのため、高速インターへのアクセス整備等、広域幹線道路網の充実を意識し た道路整備を行う必要があります。

② 商業施設の立地動向に即した整備

- ・海老名駅周辺では駅西口、駅間地区を中心に大規模商業施設を中心とした開発 が進展し、近年市外からの集客も増加しています。
- ・また、昼夜間人口比は増加傾向にあり、市外からの来訪により賑わいの創出が 図られています。
- ・道路整備の面からも、海老名駅周辺における市街地の魅力を高めるため、優先順位などに配慮しつつ進める必要があります。

③ 既存道路を活かした施策研究

・第二東名自動車道の海老名南ジャンクション以東の早期延伸整備を要望すると ともに、南部地域の交通利便性向上策について、道路ストックの活用研究を進 めます。

2 幹線道路網計画の見直しの検討

2-1 見直しの視点

道路整備を取り巻く環境変化を踏まえ、既往計画の見直しを次の視点で実施します。

① 実現性の高い「道路網計画の見直し」の実施

- ・「見直しの方針」については、平成25年度に実施された「都市計画道路の見直しについて」で、概に既決定都市計画道路についての検証がなされています。
- ・また、「見直しの検討が必要な路線の抽出」区間は、周辺市と一体となって機能する路線もあり、整備進捗に影響しているケースも見受けられる区間です。

② 「見直し内容」の明瞭化

・見直し内容は、これまでの検討過程でも言われてきたように「存続」「廃止」「変更 (減幅)」「追加」等が該当しますが、平成25年度の都市計画道路見直しでは<u>「留</u> 保付き存続」なる選択肢があり、本市においても評価対象路線の過半を占めるに至 りました。

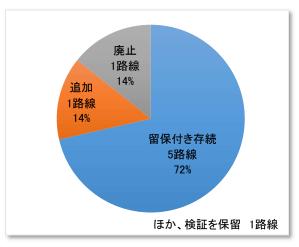


図 平成25年度 都市計画道路の見直しについて 検証結果

2-2 見直しの基本方針

見直しの視点をもとに、本市の道路交通マスタープランの見直しの基本方針は以下のと おりとしました。

見直し検討の位置付け

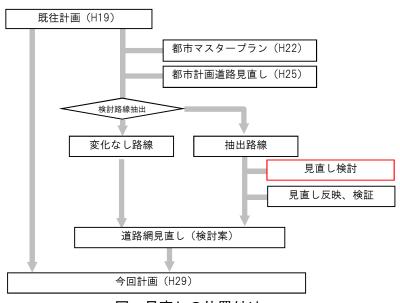


図 見直しの位置付け

見直しの内容

- ・見直しに係る項目としては「見直しの内容」自体、「見直し時期・スケジュール」 が主なものであります。「見直し」については、廃止、線形変更(現道あわせ、ル ート変更)、幅員変更などがあります。
- ・なお、追加については現計画路線を見直すものではないことから、ここでは対象と しません。

【見直し内容】

○廃止 : 都市計画決定をとりやめる

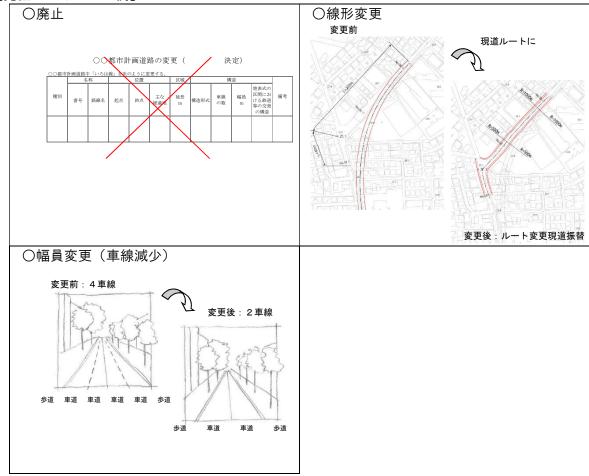
○線形変更等 : 道路平面線形をある一定の形に変更する (線形変更)

道路形態自体をあるルートに振り替える(ルート変更)

○幅員変更 : 幅員を減少する

車線減に伴う幅員減少(4車線→2車線)等

【見直しのイメージ例】



【見直し時期】

・「海老名市総合計画」等の諸計画における整備予定との調整を図るとともに、個別 路線の具体的検討を踏まえ、見直し検討路線の都市計画の手続き等を行う目標年次 を設定しますが、基本的には**翌年度からの手続き開始を目指す**ものとします。

3 将来幹線道路網計画の見直し

3-1 見直し検討路線

将来における幹線道路網の見直し作業として、次の一覧表にある路線を抽出し、見直すこととしました。

■見直し検討路線

No	道路名称	区間等	見直し理由	見直し内容
1	(都)藤沢相模原線	柏ケ谷字長ヲサ 〜東柏ケ谷一丁目	・当該区間は座間市と綾瀬市に接続する約 70mの区間である。 ・周囲は住宅地となっており、海老名市域は概ね交差点部が該当するが、都市計画内容のまま整備した場合、一部の住宅が抵触する。 ・一方、現状2車供用しているが著しい混雑もなく、故に都市計画内容(4車線、22m)整備の必然性が現状では認められない。	線形変更 (4 車→2 車 :現道あわせ)
2	(都)下今泉門沢橋線	下今泉四丁目~ 上郷一丁目	・座間市と寒川町に接続する市内を南北に結ぶ 配置形態である。 ・隣接市の先区間(座間市)では2車線での都市 計画決定であり、現在は着手の予定がない。 従い当該区間を4車整備しても、隣接市側と の不整合により交通容量面など処理機能向上 は限定的となる。 ・都決線のセンターが現道中心となっているた め、計画内容での整備の場合は沿道両側の用 地買収が必要となり多大な費用が生じる。	線形変更 (4 車→2 車 :現道あわせ)
3	(都)中新田鍛冶返線	大谷~ 大谷北四丁目	・周囲は田畑及び住宅地となっており、都市計画内容のまま整備した場合、多くの住宅が抵触する。 ・整備済みの(都)大谷峰線が並行しており、 当該路線の機能代替が可能であると想定される。	廃止
4	(都)河原口中新田線	上郷一丁目~ 河原口一丁目	・市内を南北に結ぶ配置形態である。 ・現在は2車供用されており、整備による交通容量上は変化が生じない。 ・事業未着手の中央部は、周囲が住宅地となっており、計画内容での整備の場合は相応の用地買収が必要となり多大な費用が生じる。	線形変更
(b)	(都)社家岡田線	社家字初雁~ 社家字湘築	・現時点では事業未着手であるが、相模大堰との合併構造物として、渡河部の橋脚部分は先行整備されている。 ・一方、1km南方に県道横浜伊勢原があり、渡河ルートとしては確保されている。 ・路線配置面では、全線供用においても当該路線の西側の厚木市内の道路整備予定が不明瞭であり、1区間の渡河道路に留まり、計画幅員も11mで幹線道路の位置付けでもなく、必要性が不明瞭である。	廃止

※上記 NO は次頁の丸数字の番号の箇所。

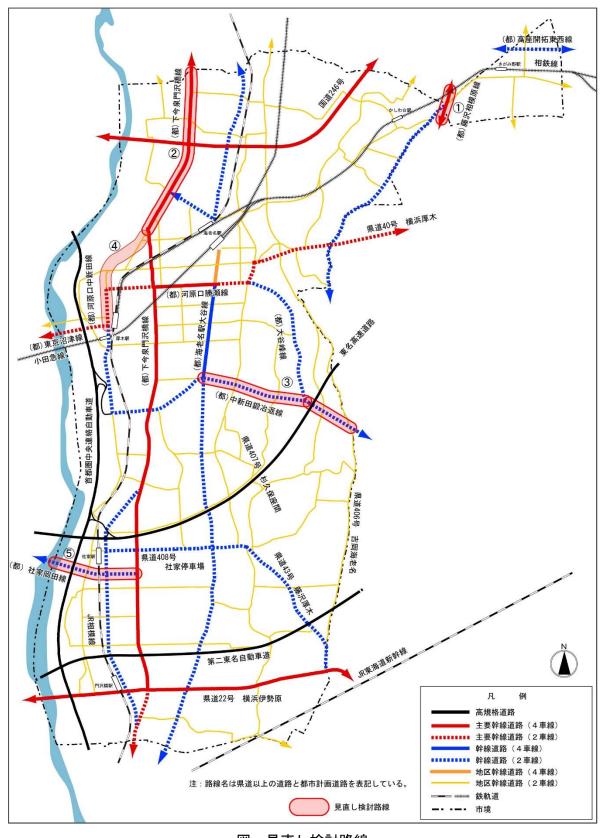


図 見直し検討路線

3-2 将来幹線道路網計画 (検討案)

見直し内容を踏まえ、海老名市における将来幹線道路網の検討案として、暫定的にネットワークを設定しました。

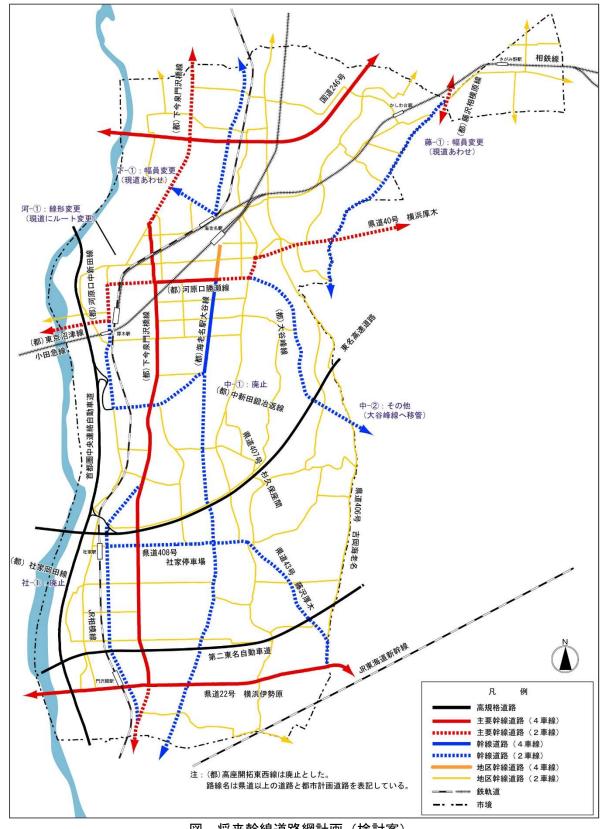


図 将来幹線道路網計画(検討案)

4 交通量の検証

4-1 将来交通需要の予測方法

1) 予測条件等

・ 先に抽出した見直し検討路線について、その有無における重要性・必要性を推し量 るべく、定量的に評価するために将来交通需要を予測しました。

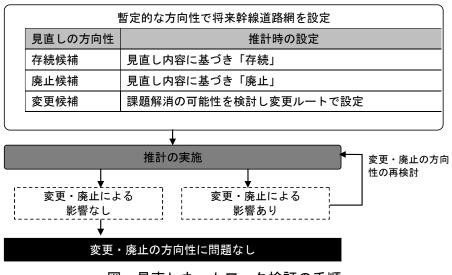


図 見直しネットワーク検証の手順

表 推計条件

項目	本調査で使用する条件
配分手法	・分割・転換率併用配分法
道路 ネットワーク	・県道以上の道路網+主要な 市道・都市計画道路
OD 表	・平成 20 年東京都市圏パーソ ントリップ調査(H20PT) ベース OD 表 (現況:H20、将来:H42)
将来交通量 推計年次	・将来(H42)…H20PT ベース 将来 OD 表年次
推計対象範囲	・海老名市を含む 348 ゾーン

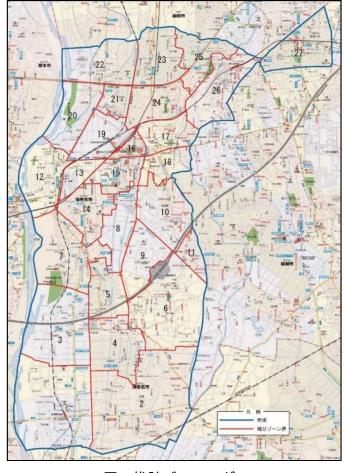


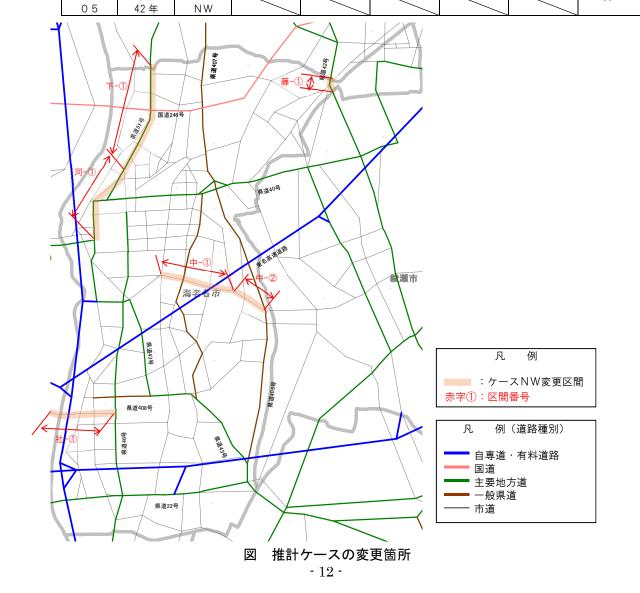
図 推計ゾーニング

2) 将来交通量推計のケース設定

・将来交通量推計のケース設定は、以下のとおり、ベースネットワーク(将来ネットワークが全て整備:ケース00)と、見直し検討路線ごとに見直し内容を反映したケース01~05の6ケースで検討しました。

			20 13710	· · · · — /	10,,,,			
配分	OD表	高速		一般道路ネットワーク				
ケース		道路ネッ	ベース	藤-①	下-①	中-①	河-①	社-①
番号		トワーク	ケース			中-②		
ケース	平成	フル	フルNW					
0 0	42 年	NW	整備					
ケース	平成	フル		変更整備				
0 1	42 年	NW		(4 車⇒2 車)				
ケース	平成	フル			変更整備			
0 2	42 年	NW			(4 車⇒2 車)			
ケース	平成	フル				一部廃止・		
0.3	42 年	NW				変更整備		
						(現況 QV)		
ケース	平成	フル	$\overline{}$				一部廃止・	
0 4	42 年	NW					変更整備	
							(線形変更)	
ケース	平成	フル						廃止

表 将来(H42)配分ケース設定



4-2 将来交通需要推計による検証結果

1) 将来交通量推計の実施

・将来交通量を推計した結果、見直し検討路線の「あり・なし」による状況変化及 び、定量的な検証を行いました。

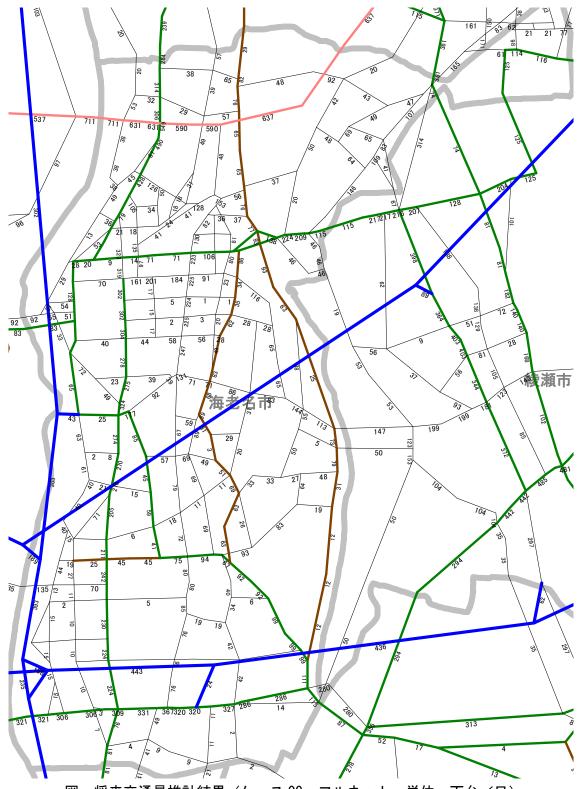


図 将来交通量推計結果 (ケース 00:フルネット 単位:百台/日)

2) 見直しネットワークの評価

・見直し検討路線ごとの推計結果をもとに、各ケース別の問題点等を評価しました。

表 見直しネットワークの評価結果

ケース	施策内容	
ケース01	藤-①((都)藤沢相模原線)	
	現道併せ QV変更	
	Vそのままで4車から2車	
ケース02	下-①((都)下今泉門沢橋線)	
	現道併せ QV変更	
	Vそのままで4車から2車	
ケース03	中-①((都)中新田鍛冶返線)	
	廃止 リンクカット	
	中-②((都)中新田鍛冶返線)	L
	現道併せ 現況QVに変更	
ケース04	河-①((都)河原口中新田線)	
	線形変更の一部リンクカット	
	重複区間のQVを4種2車QVへ	
ケース05	社-①((都)社家岡田線)	
	廃止 リンクカット	

	評	価
継続:		ない箇所が、施策に 雑することから、影 と判断する。
継続:		終日混雑することか 大きいと判断する。
継続:	よりピーク	ない箇所が、施策に 時を越えて混雑が見 とから、影響は大き る。
廃止:	以下で大き	周辺道路の混雑度1 な増加は見られない は小さいと判断す
継続:		あるが、施策により る区間が長く、影響 判断する。

- ・以上より、(都)河原口中新田線を除き、各施策内容の方向性について再度見直しを行ったうえで、将来幹線道路網案を構築します。
- ・なお、(都)河原口中新田線については、既往計画では廃止としていましたが、今後の都市計画道路の見直しを進めるにあたり、現交通量での検証を行いました。

3) 見直しネットワークの結果

・見直しネットワークの評価結果に基づく、将来ネットワークの交通量推計結果を以下に示します。

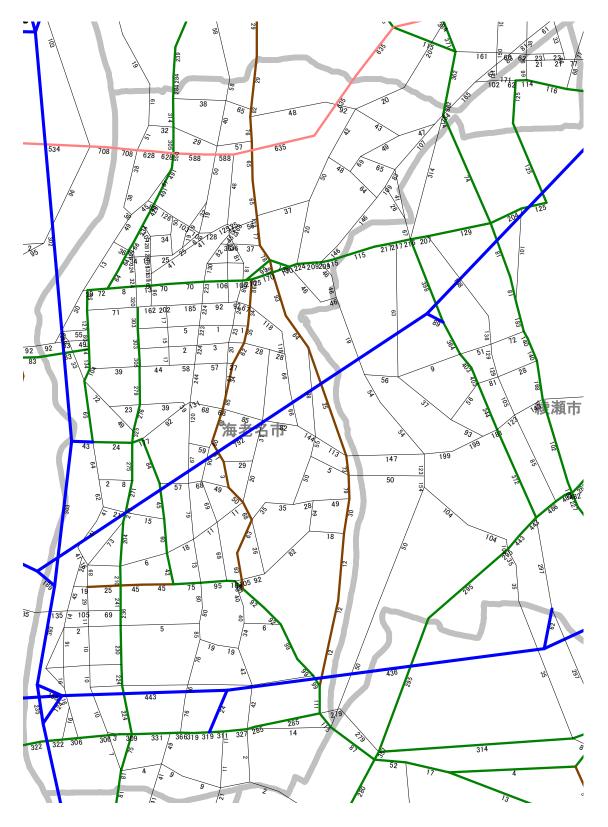


図 将来交通量推計結果(単位:百台/日)

- 15 -

5 将来幹線道路ネットワーク

5-1 幹線道路ネットワーク

将来幹線道路網(検討案)より、定量的検証を行った上での本市の将来幹線道路ネットワークは以下で構築します。

■広域幹線道路

	該 当 路 線
高速自動車国道	東名高速道路 一般国道 468 号(首都圏中央連絡自動車道) 第二東名自動車道
一般国道	一般国道 246 号

■幹線道路

	該当路線
県道 (主要地方道含)	県道 22 号横浜伊勢原 県道 40 号横浜厚木 県道 43 号藤沢厚木 県道 406 号吉岡海老名 県道 408 号社家停車場 県道 407 号杉久保座間
都市計画道路	(都)河原口勝瀬線 (都)藤沢相模原線 (都)下今泉門沢橋線 (都)東京沼津線 (都)海老名駅大谷線 (都)大谷峰線 (都)中新田鍛冶返線 (都)河原口中新田線 (都)社家岡田線
海老名市道	幹線市道(1級、2級市道)の一部

■自転車・歩行者道路

	該当路線
県道等	さがみグリーンライン 横須賀水道路

5-2 将来幹線道路網計画

本市における将来道路網の見直し検証を行った結果、将来道路網は以下のとおりとします。

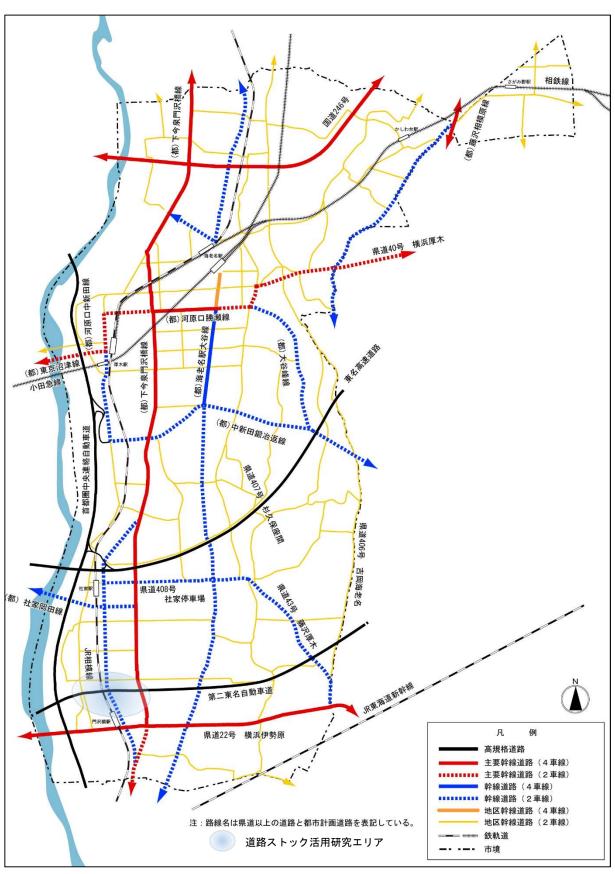


図 将来幹線道路網